令和２年度　社会福祉法人本庄市社会福祉協議会事業計画

「みんなで支えあう　思いやりのあるまち　本庄」
～安心と共生のまちづくり～

○事業経営の方針

人々の暮らしや地域のあり方が多様化している中、地域に生きる一人ひとりが尊重され、多様な経路で社会とつながり参画することで、その生きる力や可能性を最大限に発揮できる「地域共生社会」の実現が求められています。２０４０年には人口減少・少子高齢化がさらに進展し、単身世帯が４割、就職氷河期世代の高齢化等の状況にも直面すると言われています。地縁・血縁による助け合い機能が低下する中、従来の「縦割り」の制度では複合化・複雑化した生活課題への対応が困難となるため、国では「丸ごと相談（断らない相談）の実現」「地域共生に資する取組の推進」「高齢者も障害者も利用できるサービスの推進」について検討が進められています。

本庄市においては、自治会連合会、民生委員・児童委員、ボランティアのみなさまによる地域見守り活動やサロン活動など、地域ごとに住民主体の小地域福祉活動が展開されています。その一方で、活動参加者の固定化や、担い手の後継者が見つからないなど、徐々に様々な課題が認識されてきております。

本庄市社会福祉協議会では、現在取り組んでいる各種施策の一層の充実に努め、令和２年度は特に生活支援体制を強化し、「みんなで支えあうしくみづくり」の推進に努めます。また、災害ボランティアセンター運営訓練を実施し、災害支援体制の整備に取り組んでまいります。

さらに、昨年度からスタートした**「ふくしの杜ほんじょうプラン２１～第２期本庄市地域福祉計画・第２期本庄市地域福祉活動計画～」**に基づき、地域の多様な主体との連携・協働により「地域共生社会」の実現を目指し、各種福祉施策を展開してまいります。

「市民の生活を支える仕組みづくり」

誰もが住み慣れた地域で安心して生活を送るために、分野横断的な「仕組み」の構築を目指す取り組み

○相談支援の仕組みづくり

◇生活相談支援体制の整備

・生活困窮者自立相談支援窓口の体制を強化する。

◇市民への福祉情報の提供

・まちの「ふくしＰＲコーナー」を増設する。

◇各種相談窓口の運営（心配ごと・結婚・成年後見）

◇ＳＡＩＴＡＭＡ出会いサポートセンター事業の運営

○横断的なサービスづくり

◇権利擁護事業の推進

◇住民参加型在宅福祉サービス事業の充実

・家事援助サービスの拡充に努める。

◇福祉資金貸付制度の運用

◇災害支援体制の整備

・災害ボランティアセンター運営訓練に取り組む。

◇本庄西地域包括支援センターの受託運営

○人にやさしい生活環境の充実

◇高齢者見守り事業の実施

◇介護保険・障害福祉サービスの提供

◇児玉郡市手話通訳者派遣事業の受託実施

◇ファミリー・サポート・センターの受託運営

◇生活支援コーディネーター業務の受託（協議体の運営）

・生活支援体制の整備に取り組む。

「人と人とのつながりづくり」

あらゆる生活課題への対応力を強化するために、地域ごとのネットワークや組織づくりを目指す取り組み

○小地域における福祉活動の推進

◇サロン活動の推進

・ふれあいいきいきサロンや福祉サロン活動を支援する。

◇地域における見守り体制の整備

・地域ごとの見守り活動を支援する。

○関係機関・団体等との連携強化

◇地域福祉団体との連携

◇民生委員・児童委員協議会との連携

◇彩の国あんしんセーフティネット事業の運営

・市内の社会福祉法人と連携し、生活困窮者の支援を行う。

「地域で共に生きるための人づくり」

市民の生活を支える「仕組み」を機能させるために、ネットワークや組織を構成する人材の発掘・養成・資質向上を目指す取り組み

○福祉学習の充実

◇ボランティア体験プログラムの実施

◇福祉教育推進事業

・学校や地域における福祉教育を推進する。

◇「総合的な学習の時間」における福祉教育支援

・新たな福祉教育プログラムについて協議・検討する。

○地域人材の確保・育成

◇各種ボランティア講座の開催

・ボランティアグループと連携して、ボランティア養成講座を開催する。

◇分野別ボランティアの育成

・「災害」「傾聴」など、あらゆる分野のボランティアを養成する。

「計画推進体制の発展・強化」

様々な事業を展開するために、地域の中核的な福祉機関としての機能を強化するとともに、活動のための財源確保を目指す取り組み

○社会福祉協議会の機能強化

◇「ふくしの杜ほんじょうプラン２１」の推進

◇社協会員の増強（社会福祉協議会の認知度向上）

・地域のイベント等に積極的に参加して、事業や会員制度等を周知する。

◇第３回「本庄市社会福祉大会」の開催

○地域福祉財源の確保

◇社協会費・寄附金の確保

◇共同募金運動の推進（赤い羽根・歳末たすけあい）

・地域団体等と連携して募金活動等を展開する。

◇自動販売機設置経営事業の実施

◇赤十字会員の募集